

校訓

- ◆ あかるく
- ◆ なかよく
- ◆ すすんで

肢体不自由特別支援学校 ～「想像をひろげよう」を合い言葉に～

茨城県立下妻特別支援学校

GRAND DESIGN 2024

学校教育目標

理念

- ★ 信 頼
- ★ つながり
- ★ 誠 実

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行うことにより、自立と社会参加をめざした「生きる力」と調和のとれた豊かな人間性の育成を図る。

〔 目指す児童生徒像 〕

- 明るく元気にあいさつできる子
- みんなと仲良く協力できる子
- 自分から進んでおこなう子
- ねばり強くやりとおす子

『 目指す学校像 』

- ◆ ところとからだにやさしい学校
- ◆ 「夢や希望」に向かって努力する力を育てる学校
- ◆ 信頼とつながりを大切にする学校

〔 目指す教職員像 〕

- 子どもの気持ちに寄り添える教職員
- 子どもの可能性を信じ、共に学ぶ教職員
- 課題を捉え、解決のために連携・協働できる教職員
- 仕事に誇りをもち、自己研鑽に励む教職員

令和6年度重点目標

自立と社会参加に向けた 教育活動の充実

- 基本的生活習慣（挨拶・整容・姿勢・言葉遣い・時間管理等）と豊かな心の育成を図る。
- 個々の自定義を明確にし、切れ目のない支援で、体系的なキャリア教育を推進する。
- 社会参加を促す体験的な学習の充実と実践を図る。
- 卒業後の視点で個に応じた適切なキャリア教育を行う。
- 地域交流・学校間交流・居住地校交流等の共同学習を推進する。

一人一人の個性や特性及び状態 に応じた指導・支援の充実

- 子どもの気持ちの理解と、個別最適な学びにつながる適切な指導・必要な支援を行う。
- 探求心を高める授業を実践し、一人一人の可能性を最大限に伸ばす。
- 個別化、個性化を意識した自立活動の充実を図る。
- 自立活動の指導内容を意識した教科指導の充実を図る。
- ICT 機器の有効活用による環境整備を推進し、多様な授業展開を図る。

安全・安心な学校づくり

- 心の居場所と安心して学べる学校づくりを目指す。
- 想像を広げたいじめの予防的取組と組織的対応の充実を図る。
- 感染症防止対策の徹底を図る。
- 想像を広げた危機管理体制（平時・緊急時・災害時等）の見直しと強化を図る。
- 想像を広げた視点で業務改善を行い、働き方改革を推進する。

肢体不自由教育の 専門性の向上

- 身体の動き、感覚や認知に関わる特性、経験や体験等のアセスメント力の向上を図る。
- 確かな専門性をもって一人一人に寄り添う支援を行う。
- 精神的、社会的自立につながる生活力支援の充実を図る。
- 校内研修等を充実させ、専門性の向上を図る。
- 医療・福祉、地域、関係機関等との連携・協働を通じた支援の、教育活動の充実を図る。

センター的機能の充実

- 肢体不自由教育の特別支援学校として、組織的な支援を推進する。
- 教育相談及び入試相談の充実を図る。
- 肢体不自由教育の取組を積極的に発信する。
- 個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用を支援する。
- スポーツ・文化活動を推進するとともに障害者スポーツの理解啓発に努める。